Panasonic

ガスヒートポンプエアコン

納入仕様書

Ｓ２形　　エクセルプラス

室外ユニット

製 品 名

御提出先

御納入先

平成　　年　　月　　日　提出

受領印	／	／	／

パナソニック産機システムズ株式会社

仕様(エクセルプラス室外ユニット)

*品番の（R）はリニューアル機種

品　　番	U－GB560S2SD（R）

区分	項目		単位	値
外形寸法	高さ		mm	2,228
	幅		mm	1,800
	奥行		mm	1,000(+60)
質量			kg	920
性能	定格冷房能力		kW	56.0
	定格暖房能力		kW	63.0
	定格暖房低温能力		kW	67.0
	定格発電能力		kW	2.3（最大3.95）※1
室外ユニット電源				単相200V 50/60Hz
電源仕様				単相3線式100/200V 50/60Hz
電気特性	運転電流	冷房	A	7.4/7.2
		暖房	A	6.0/6.0
	消費電力	冷房	kW	1.36/1.36
		暖房	kW	1.12/1.12
	力率	冷房	%	92/94
		暖房	%	93/94
	始動電流		A	30/30
	系統連系インバーター	定格出力電流	A	19.75 ※2
		最大出力電流	A	25.0 ※3
燃料消費量	定格冷房時	発電時	kW	44.0
		非発電時	kW	38.3
	定格暖房時	発電時	kW	48.7
		非発電時	kW	43.0
圧縮機	指定冷凍機油			HP-9
	冷凍機油封入量		L	4.4
	クランクケースヒーター		W	30
塗装色（マンセル記号）				シルキーシェード（1Y8.5/0.5）

区分	項目		単位	値
エンジン	排気量		L	2,488
	定格出力		kW	12.4
	潤滑油	種類		パナソニック純正
		封入量	L	43
スターターモーター				DC12V×2.2kW
スターター方式				AC/DC変換式DCスターター
エンジン冷却水	種別×封入量		L	パナソニック純正×24
	濃度・凍結温度			50V/V%・-35℃
	冷却水ポンプ定格出力		kW	0.16
冷媒×封入量			kg	HFC[R410A]×11.5
空気吸込口				正面・背面
空気吹出口				上面
配管関係	冷媒ガス管		mm	φ28.58(ろう付)
	冷媒液管		mm	φ15.88(ろう付)
	燃料ガス配管口			R3/4(オネジ)
	排気ドレン口		mm	φ25ゴムホース(長さ350)
運転音			dB	58
送風装置	送風機形式			プロペラファン×2
	定格風量		m³/min	380
	定格出力		kW	0.70×2
ドレン用ヒーター			W	40
臭気触媒	触媒の種類（貴金属）			酸化触媒(Pt)
発電機	容量		kW	3.95
	種類			永久磁石界磁形三相同期発電機
	インバーター			自励式インバーター

※１：自立運転時　最大３．５ｋＷ
※２：発電出力３．９５ｋＷ時
※３：出力電流抑制機能が働いた場合の最大電流

≪注記≫

１.冷房能力および暖房能力は、JIS B 8627に準じて運転した場合の値です。自立運転時は、発電量を維持するため、空調能力が低下することがあります。

運転条件	冷房時	暖房時	暖房時（低温）
室内側吸込空気温度	27℃DB・19℃WB	20℃DB	20℃DB・15℃WB以下
室外側吸込空気温度	35℃DB	7℃DB・6℃WB	2℃DB・1℃WB

・暖房使用可能範囲は、室外側吸込空気温度－20℃DB・－21℃WB以上です。

２．発電能力は発電端出力です。機外へは自己消費電力を差し引いた電力が出力されます。空調負荷に応じて発電出力制御し、発電可能電力は最大３．９５ｋＷです。

３．燃料消費量は、総（高位）発熱量基準です。

４．室外ユニットの運転音は、正面前方１ｍ・高さ１．５ｍにおける値です。（無響室換算）実際に据え付けた場合は、周囲の騒音や反響などにより表示値より大きくなるのが普通です。

５．表中では５０／６０Ｈｚでの値を表します。その他は５０Ｈｚ・６０Ｈｚ共通です。

６．冷媒ガス管、冷媒液管の（　）内数値は、最大配管長が９０ｍ（相当長）を超える場合の値です。（レデューサーは現地手配となります）

７．仕様は予告なしに改良などにより変更することがあります。

８．系統連系していただく上のご注意

・ハイパワーエクセル及びエクセルプラスを系統連系して発電するためには、電力会社との系統連系協議が必要ですので、最寄の電力会社営業所へ相談してください。

・コジェネレーションなど他の発電設備と併設する場合、単独運転検出機能（能動的方式）が干渉する可能性があるため、別途、保護継電器が必要になることがあります。また、併設可否について、電力会社へ事前確認を行ってください。

・太陽光発電など逆潮流のある発電設備と併設する場合、単独運転検出機能（能動式方式）が干渉する可能性があるため、単独運転検出機能（能動的方式）に代わる機能が必要となることがありますので、逆潮流有り、無しにかかわらず併設可否について、電力会社へ事前確認を行ってください。

・ハイパワーエクセル及びエクセルプラスを発電運転するためには、系統連系盤、分岐接続版、電路及び分電盤等にCTの取付け等、電気工事などの関連工事が伴います。

９．降雪地域では、ユニット保護のめ、雪よけの屋根（防雪フード等）を取り付けてください。また、降雪センサー（現地調達）を取付け可能です。詳細はサービスマニュアル、または、設備設計ガイドを参照してください。

設計いただく場合のご注意

●必ず指定の電源切替盤を使用してください。

河村電器製

接続台数(※1)	1台用	2台用	4台用
品　　番	HPE－DK－SAN	HPE－DK－SAN2	HPE－DK－SAN4

パナソニック製

接続台数(※1)	1台用	2台用	4台用
品　　番	BPSJ5720V9	BPSG761522V9	BPSG781727V9

※1 接続台数は、1台用（エクセルプラス1台）、2台用（エクセルプラス1台、ハイパワーエクセル1台）、4台用（エクセルプラス1台、ハイパワーエクセル3台）となります。

●自立運転中に電源供給できる接続機器は、指定の室内ユニットおよび照明、コンセント(サーキットプロテクタ付き)に限ります。それ以外は接続しないで下さい。

●サーキットプロテクタ推奨品は、【パナソニック製：CP－C/AC型 2P　高速（F-1）】です。

注 意

●停電により重大な被害が想定される機器（医療機器等）、財産が損害を受けるおそれのある機器（コンピューター･冷蔵庫等）は接続しないでください。

●コンセント設置時には、接続負荷に見合ったサーキットプロテクタを設置してください。
サーキットプロテクタは操作できる場所に設置してください。
壁等に埋め込む場合は、点検口を必ず付けて、サーキットプロテクタを操作できるようにしてください。

●指定された容量（発電電力量）を超える負荷を接続しないでください。
※自立運転中に発電できる電力は、室外ユニット自己消費電力（最大1kW）を含めて“3.5kW”です。

●突入電流が大きい電気機器は接続しないでください。

●ノイズが発生する機器は接続しないでください。

①エクセルプラス接続容量制限

■停電時に空調および照明・コンセントを使用する場合

	室内ユニット　※1 ※2 ※3	電気機器【例】
接続機器	4方向天井カセット形　2～6馬力(56～160形) 天井吊形　4～6馬力(112～160形) 天井ビルトインカセット形(FS2形) 2～6馬力(56～160形) ビルトインオールダクト形(FES2形) 2～6馬力(56～160形)	照明 (LED、蛍光灯、水銀灯 ※4等) コンセント（携帯電話の充電）
接続台数	最大　10台	－
接続可能容量	50～100%接続 (2～3.2馬力の室内ユニットを含む場合は、80～100%接続)	最大　1.2kVA まで　※5
電源接続先	電源切替盤2次側	

■停電時に照明・コンセントのみを使用する場合（※停電時に空調を使用しない場合）

	室内ユニット	電気機器【例】
接続機器	制約なし （ハイパワーエクセル機に順ずる）	照明 (LED、蛍光灯、水銀灯 ※4等) コンセント（携帯電話の充電）
接続台数	最大 24台	－
接続可能容量	50～130%接続	最大　2.5kVA まで
電源接続先	電源切替盤1次側	電源切替盤2次側

※1　室内ユニットは集中制御も可能ですが、個別リモコンの設置は必須です。集中制御用のリモコンは電源切替盤2次側の接続も可能です。

※2　停電時に自立運転させる室内ユニットは、室外ユニットの基板にて設定・変更できます。

※3　自然気化式加湿器の接続は可能。ただし、ポンプ等付帯設備側の電源が停電になった場合はご利用できない場合があります。

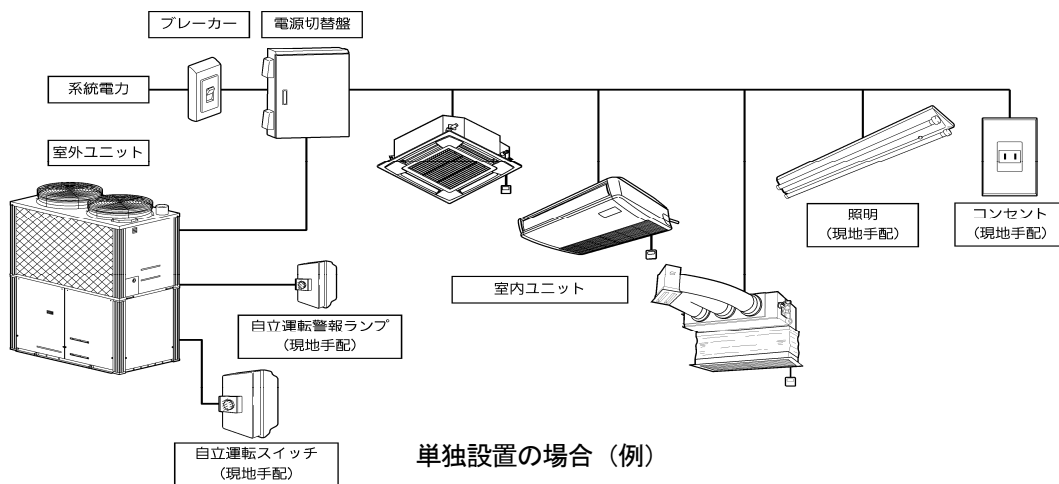
※4　水銀灯は、高力率安定器使用のものに限ります。
水銀灯は、始動電流に電圧を掛けた値を最大電力として計算してください。

※5　接続室内ユニット：4方向天井カセット形　5馬力（140形）×4台で算出しています。
（照明等の電気機器の接続可能容量は、接続室内ユニットの組み合わせにより異なります。）

●自立中の運転を許可した室内ユニットと運転を禁止した室内ユニット間では、同一リモコンでのグループ制御はできません。
●自立運転中は発電を優先するため、空調制御性が低下する場合があります。
●非常用発電機としては使用できません。
●自立運転時、商用電源が復帰したことを電源切替盤で検知し自立運転が停止します。
●バッテリーは定期交換が必要です。
●自立出力側のコンセント付近に室外ユニットに付属されている“コンセントご利用に関してのご注意ラベル”を貼り付けてください。

お願い

“コンセントご利用に関してのご注意ラベル”に記載されている
※１　接続容量＿＿＿W以上は接続しないでください。
の＿＿内に、コンセントの接続可能容量を油性マジック等の消えないもので記入してください。

単独設置の場合（例）

②ハイパワーエクセルの接続容量制限

●自立時複数台発電システムに接続できる室外ユニット・室内ユニット等は、下表のとおりです。
※自立時複数台発電システムとは、エクセルプラス１台＋ハイパワーエクセル最多３台を接続するシステムです。

■接続可能室外ユニット

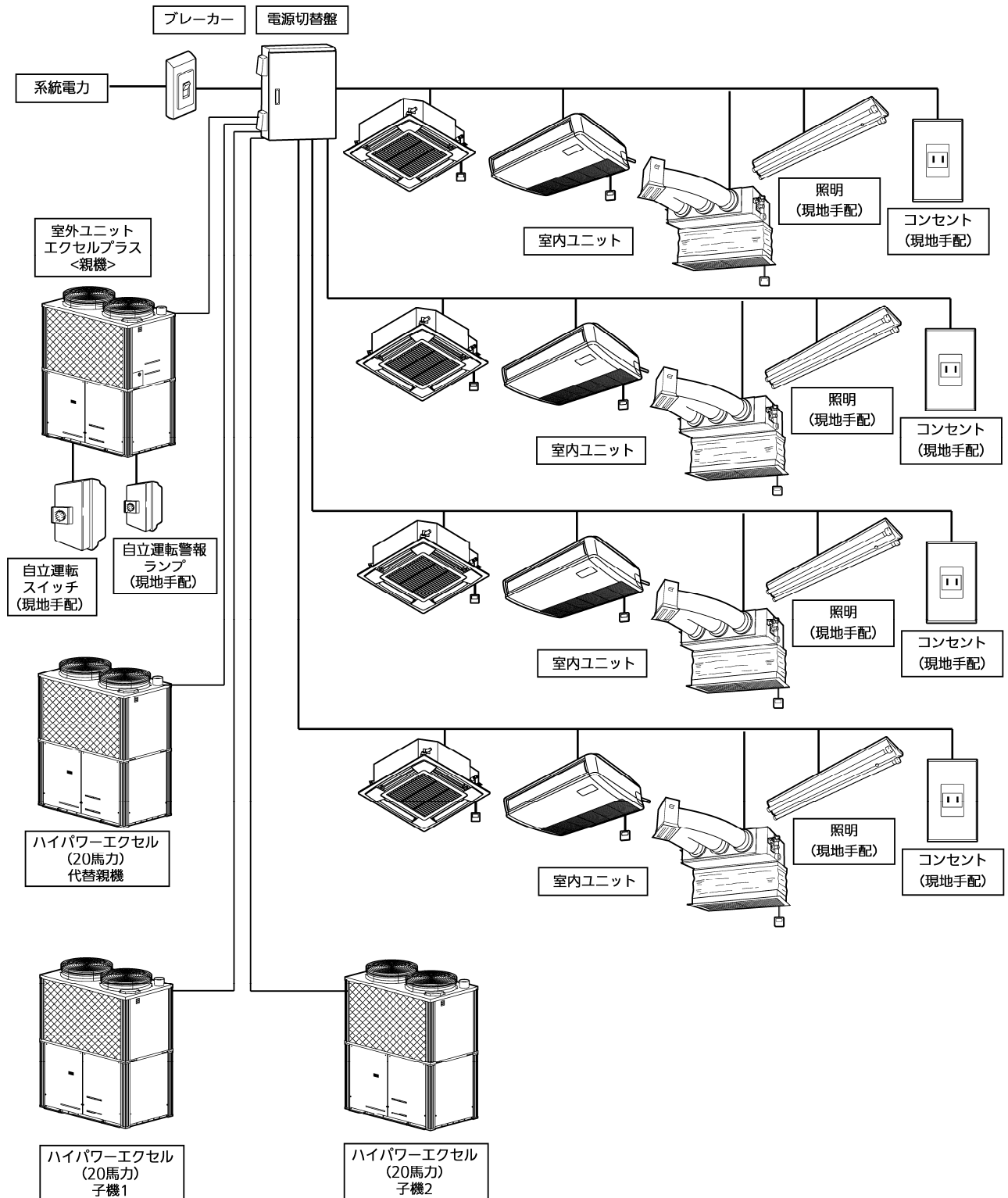
室外ユニット	ハイパワーエクセル	U-GX560S1SD U-GX560S1SDE U-GX560S1SDJ
	リニューアル専用 ハイパワーエクセル	U-GX560S1SDR U-GX560S1SDRE U-GX560S1SDRJ

■自立運転時に空調と照明・コンセントを利用する場合

接続室内ユニット（＊３）	4方向天井カセット用　S-G56～160US1N 天井吊形　S-G112～160TS1 天井ビルトインカセット形　S-G56～160FS2 ビルトインオールダクト形　S-G56～160FES2
自立運転時の接続可能室内ユニットの容量比率	50～100%（80～100%）（＊2）
室内ユニット接続可能最多台数（系統ごと）	最大10台

■自立運転時に照明・コンセントのみを利用する場合

室内ユニットに対する室内ユニットの容量比率	50～130%（＊1）
最小接続可能室内ユニット容量	22形（0．8相当馬力）（＊4）
室内ユニット接続可能最多台数（系統ごと）	24台

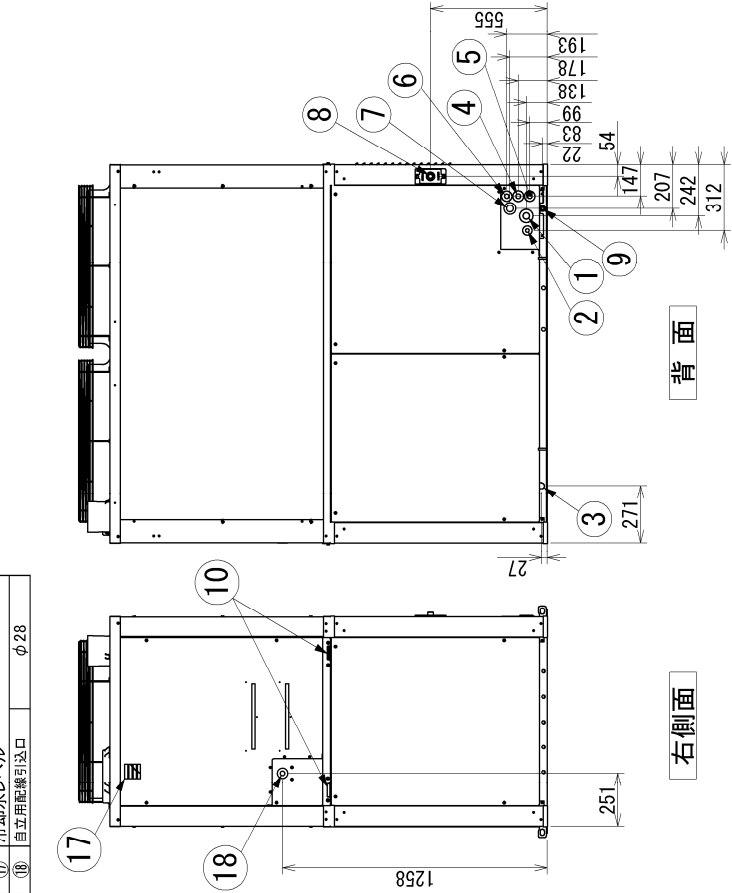
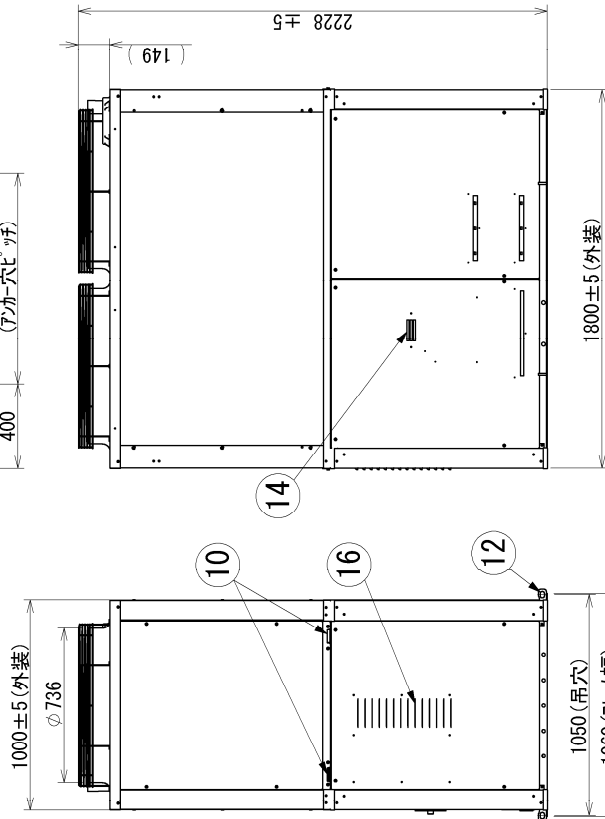
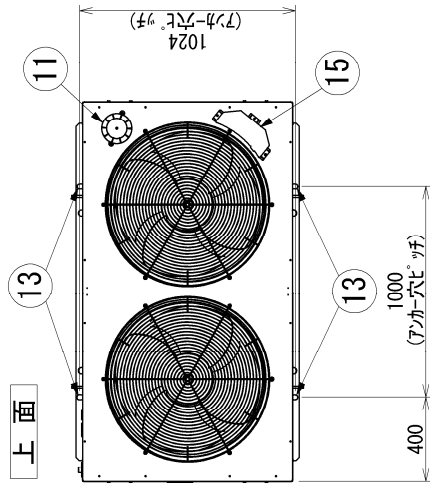
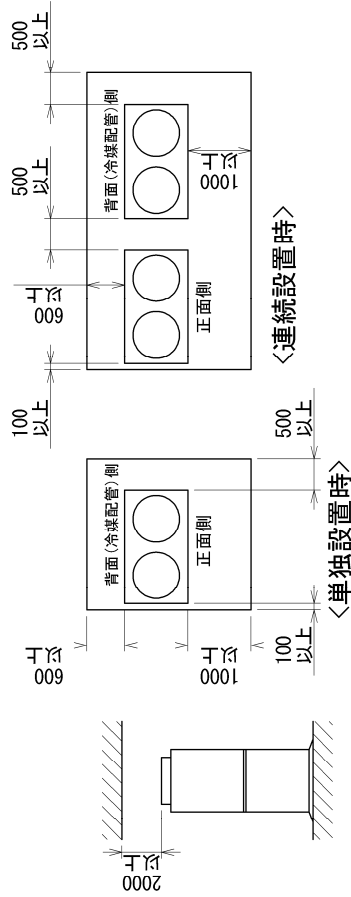
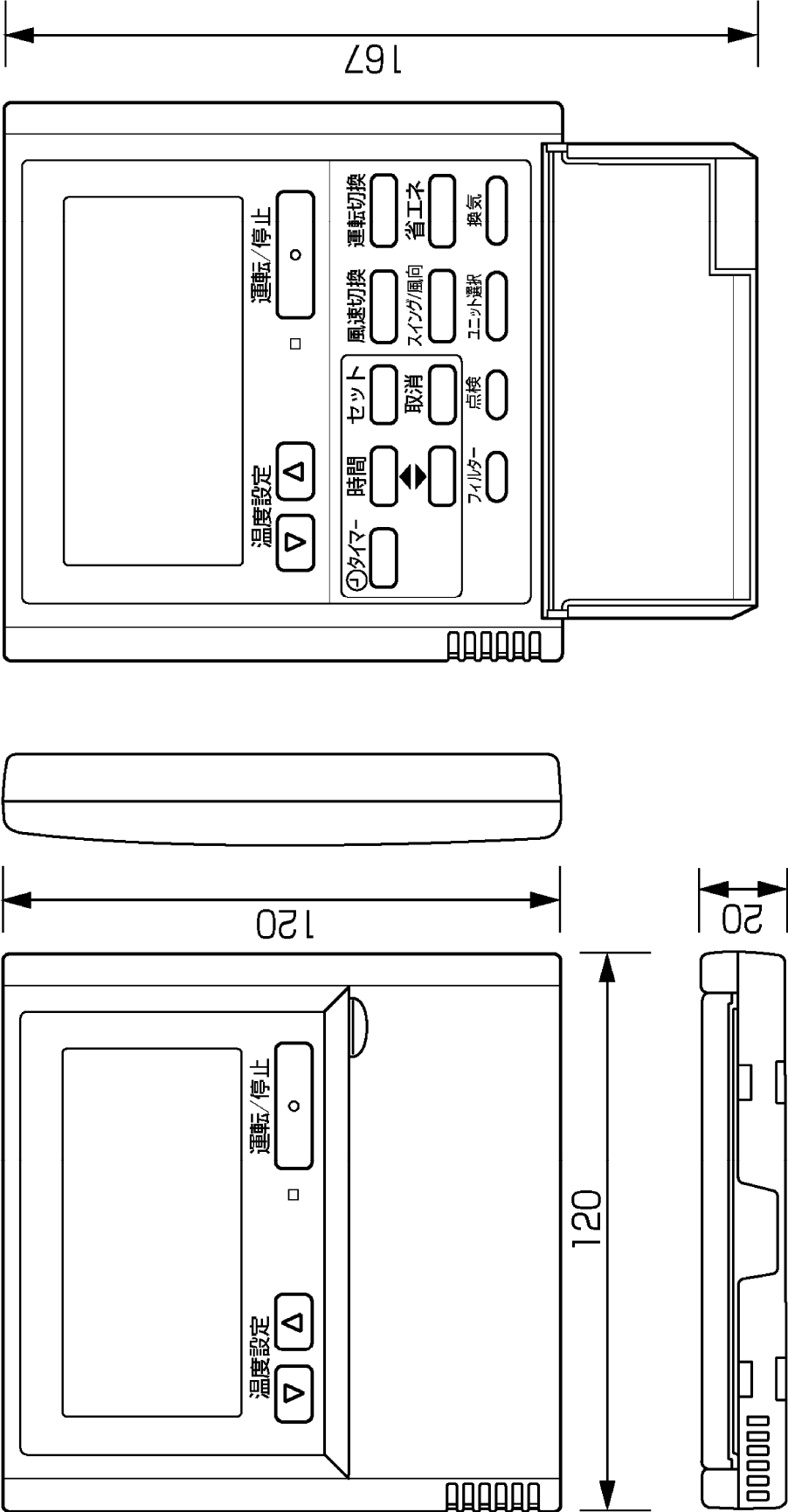
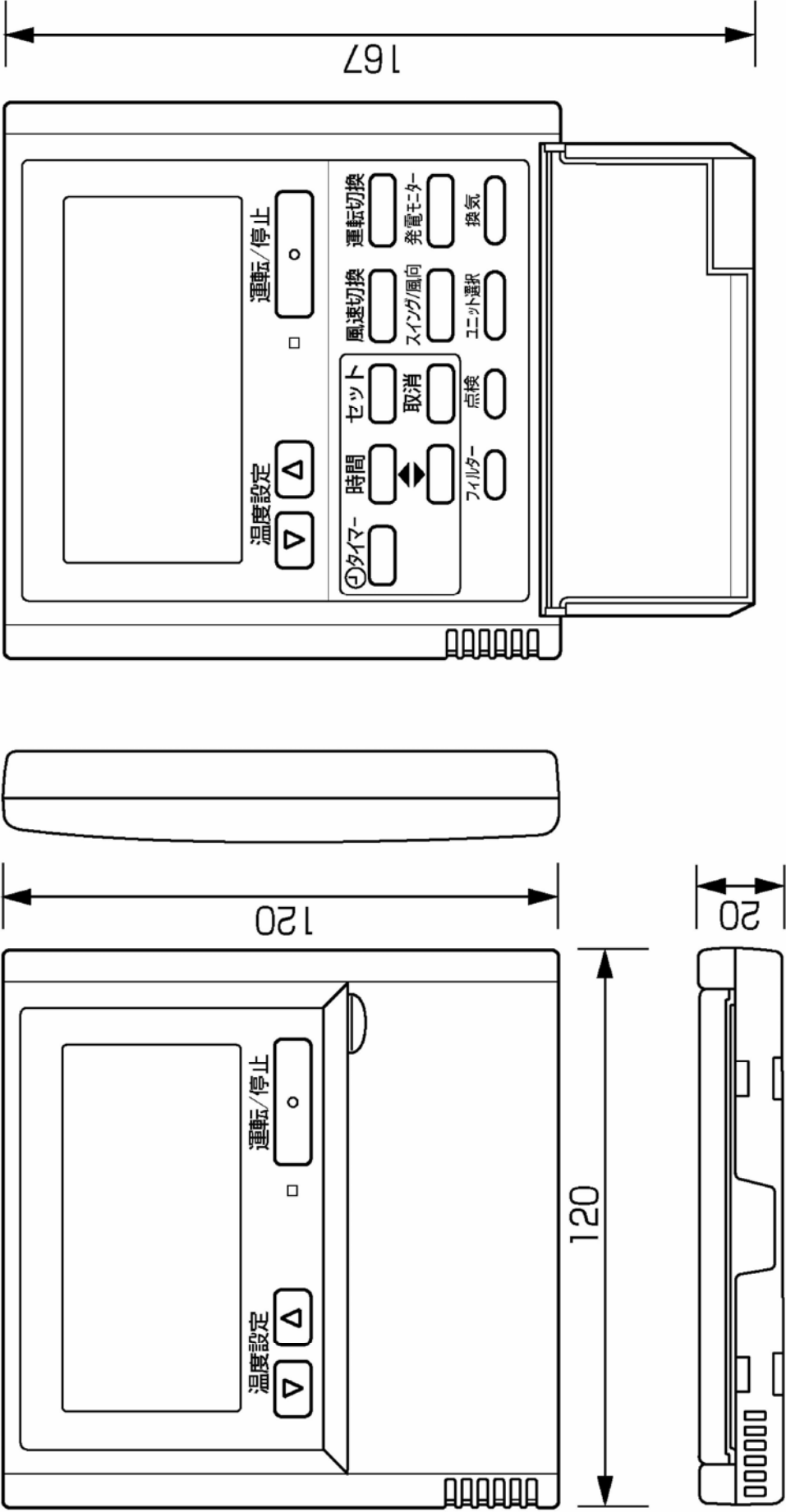
*1 システム条件によっては、上限が変わります。
*2 自立運転時の接続可能室内ユニット容量：80～100%は、接続室内ユニットに“56～90 形”が含まれる場合の室内ユニット容量です。
*3 室内ユニットの昇降グリル付天井パネルは接続しないでください。自然気化式加湿器の接続は可能です。ただし、ポンプ等付帯設備側の電源が停電になった場合はご利用できない場合があります。
*4 EH/DH355 以上の室内ユニットは接続できません。

■自立運転時の自立出力を照明・コンセントのみ接続する場合、室内ユニットは、系統電力に接続してください。

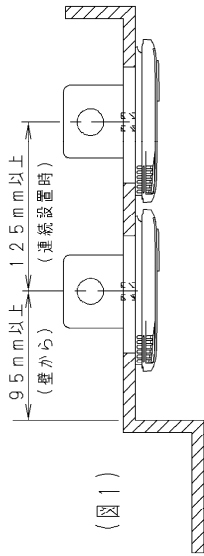
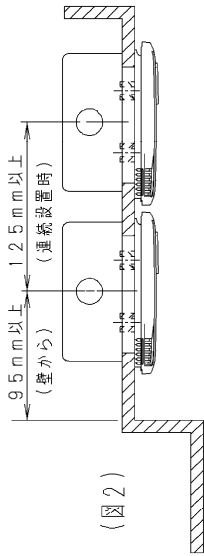
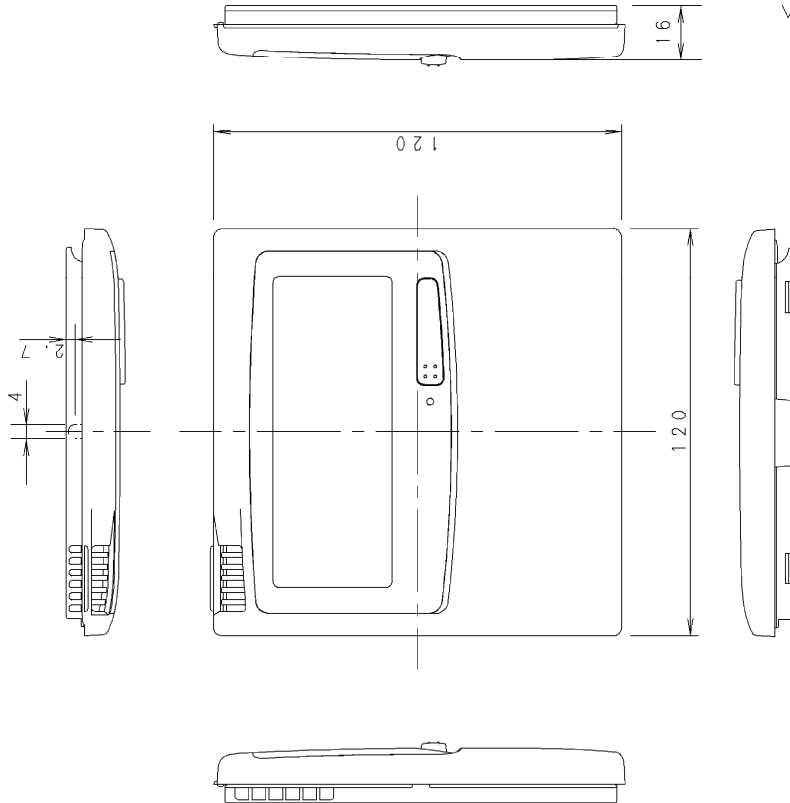
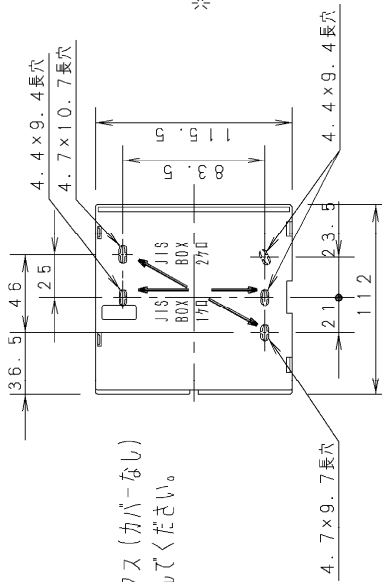
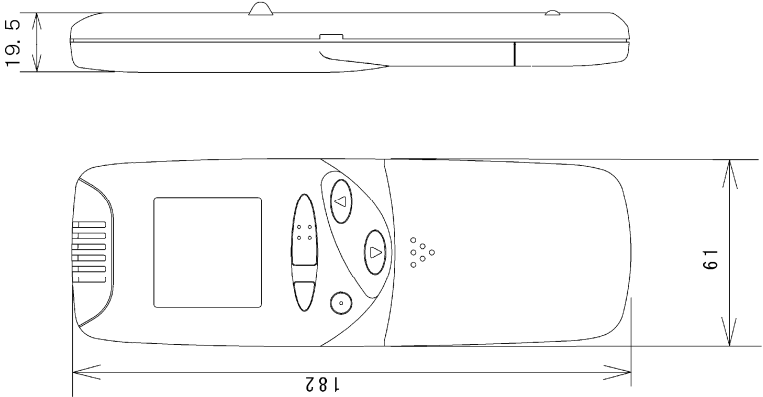
■自立時複数台発電システムにする場合、ハイパワーエクセルを自立時複数台発電システムに対応する必要があります。

■仕様

項　　目	別売品（標準）		別売品（ﾊｲﾊﾟﾜｰｴｸｾﾙ専用）
（停　　止）	ＣＺ－１０ＲＴ３	ＣＺ－１０ＲＴ３Ａ	ＣＺ－１０ＲＴ５６０Ｅ※
運転/停止	押しボタン		
運転切換	押しボタン		
温度設定	押しボタン		
風速切換	押しボタン		
オートフラップ	押しボタン		
タイマー設定	押しボタン		
フィルターリセット	押しボタン		
点検	押しボタン		
省エネ	押しボタン	—	
（表　　示）	ＣＺ－１０ＲＴ３	ＣＺ－１０ＲＴ３Ａ	ＣＺ－１０ＲＴ５６０Ｅ※
運転	ランプ・文字 運転ランプ 「試運転」 「暖房準備」 「運転準備」 「集中管理中」 「運転切換管理中」		
運転モード	文字 ※1「冷暖自動」 「暖房」 「冷房」 ※1「ドライ」 「送風」		
省エネ	「省エネ」	—	
設定温度	数字		
風速	文字 「風速　自動」 「風速　　急 」 「風速　　強 」 「風速　　弱 」		
オートフラップ	マーク		
タイマー	文字・マーク・数字		
フィルター昇降	フィルター昇降		
換気	換気		
（警　　報）	ＣＺ－１０ＲＴ３	ＣＺ－１０ＲＴ３Ａ	ＣＺ－１０ＲＴ５６０Ｅ※
通信・各種設定	「Ｅ０１～Ｅ３１」		
未設定・各種設定	「Ｌ０１～Ｌ３１」		
室内送風機	「Ｐ０１」		
天井パネル未接続	「Ｐ０９」		
室内フロートスイッチ	「Ｐ１０」		
保護装置	「Ｐ０１～Ｐ３１」		
エンジン保護	「Ａ０１～Ａ３１」		
センサー	「Ｆ０１～Ｆ３１」		

※1：空間清浄システム搭載形エアコン４方向天井カセット形は、機能しません。
※2：ＣＺ－１０ＲＴ５６０Ｅは、ハイパワーエクセル専用のワイヤードリモコンです。

	形式	寸法単位(mm) 450形	560形
①	冷媒配管(ガス管)	φ28.58	
②	冷媒配管(液管)	φ12.7	φ15.88
③	排気ガスドレンホース	外径:φ25 長さ:350	
④	電源引込口	φ28	
⑤	ユニット間配線引込口	φ28	
⑥	インバーター配線	φ28	
⑦	引込口	φ40	
⑧	燃料ガス口	G:R3/4	
⑨	凝縮ドレン口	φ20	
⑩	雨水・凝縮水出口		
⑪	排気出口		
⑫	吊穴4-20×30長穴		
⑬	アンカー用穴4-24×29長穴		
⑭	7セグメント表示		
⑮	冷却水注入口フタ		
⑯	吸気口		
⑰	冷却水レベル		
⑱	自立用配線引込口	φ28	

品番	CZ-10RT3 CZ-10RT3A	外形寸法図 （標準ワイヤードリモコン）

温度設定
運転/停止
120
120
20
タイマー
時間
セット
取消
風速切換
運転切換
スイング/風向
発電モニター
フィルター
点検
ユニット選択
換気
167
品番
CZ-10RT560E
外形寸法図
（ハイパワーエクセル専用
ワイヤードリモコン）

連続設置の場合の取付け寸法
※ リモコンスイッチを、壁面に連続して取付ける場合は、
図1・図2の取付け寸法を守ってください。
95mm以上
(壁から)
125mm以上
(連続設置時)
(図1)
リモコン線引出し口
JIS C8340
1個用スイッチボックス
(カバーなし)
(図2)
JIS C8340
2個用スイッチボックス
(カバーなし)
※ リモコンスイッチを上下に並置して、取付ける場合は、
保守の関係上、隙間は25mmを守ってください。
<リモコン取付け寸法>
36.5
46
25
4.4×9.4長穴
4.7×10.7長穴
JIS BOX 1ケ口
JIS BOX 2ケ口
83.5
115.5
4.7×9.7長穴
21
23.5
112
4
2.7
120
16
お願い) 配線を埋込まれる場合は、JIS-C8340 1個用スイッチボックス(カバーなし)
または、2個用スイッチボックス(カバーなし)を現地手配し、埋込んでください。
品番
CZ-10RT3W
外形寸法図
(タイマーリモコン)

ワイヤレスリモコン寸法図
19.5
182
61
リモコンホルダー(付属)寸法図
φ4.5穴
73.6
110
21.4
65
14.3
φ4.5×5.5長穴
受信部寸法図
4.4×9.4長穴
120
83.5
(JISBOX 穴ピッチ)
35
70
13
4.4×5.4長穴
お願い）1．配線を埋込まれる場合は、JIS－C8340
1個用スイッチボックス（カバーなし）を現地手配し、埋込んでください。
2．天井面に取り付けてご使用の場合は、付属の天井取り付け用金具を使用して取り付けてください。
品番
CZ－10RWK3
外形寸法図
(ワイヤレスリモコン)
別置受信部タイプ

外形寸法図

ワイヤレスリモコン寸法図

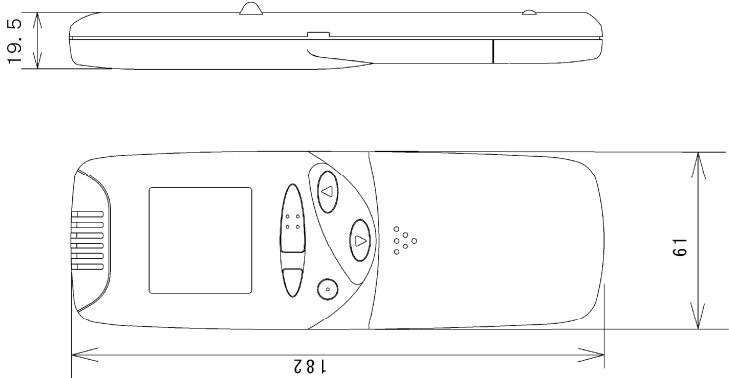
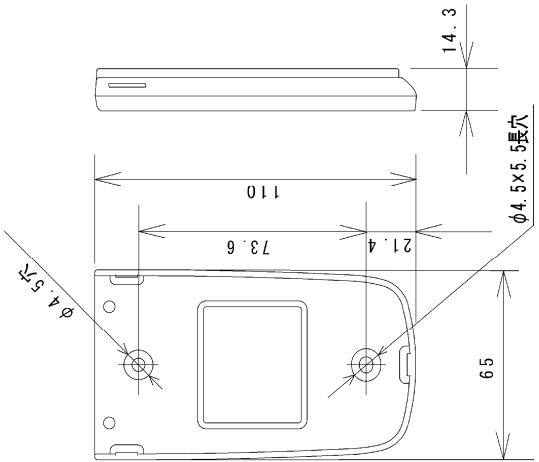
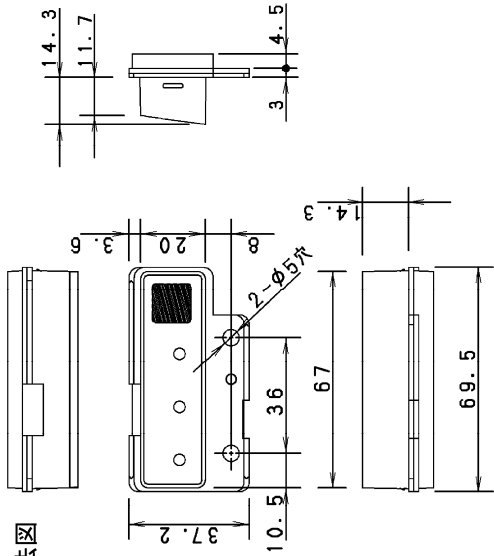
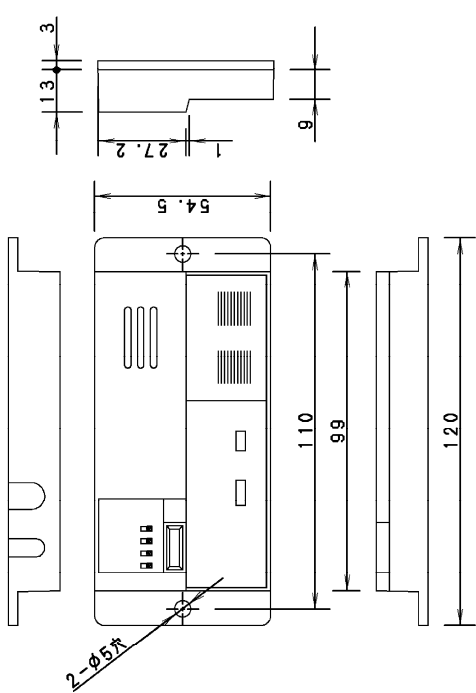
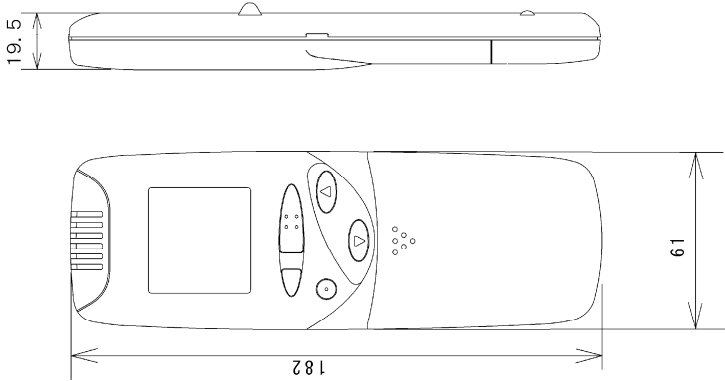
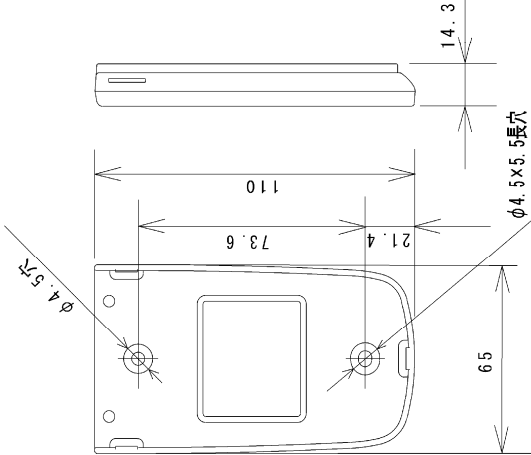
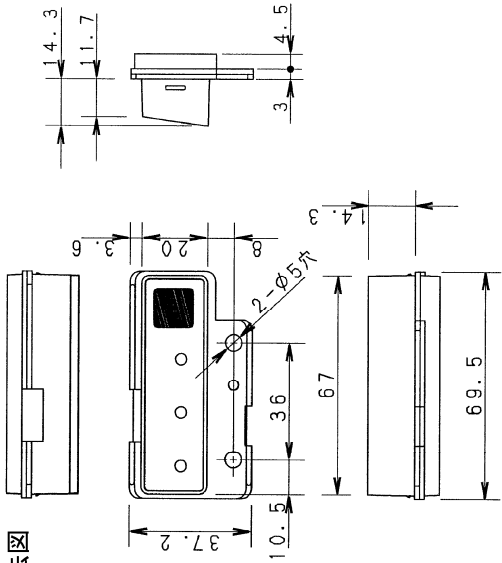
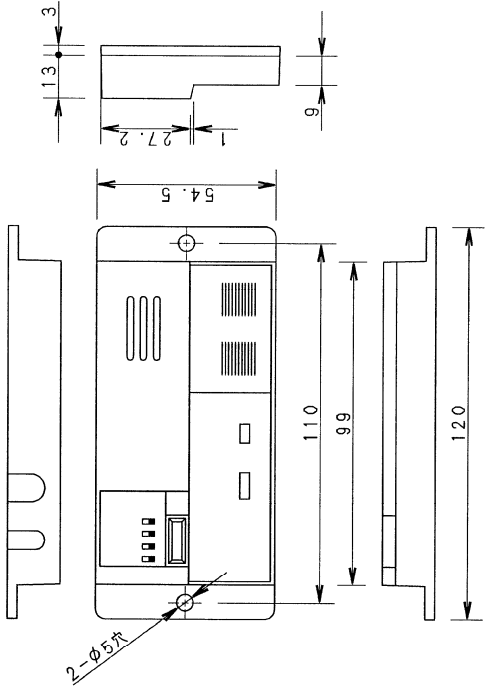
リモコンホルダー(付属)寸法図

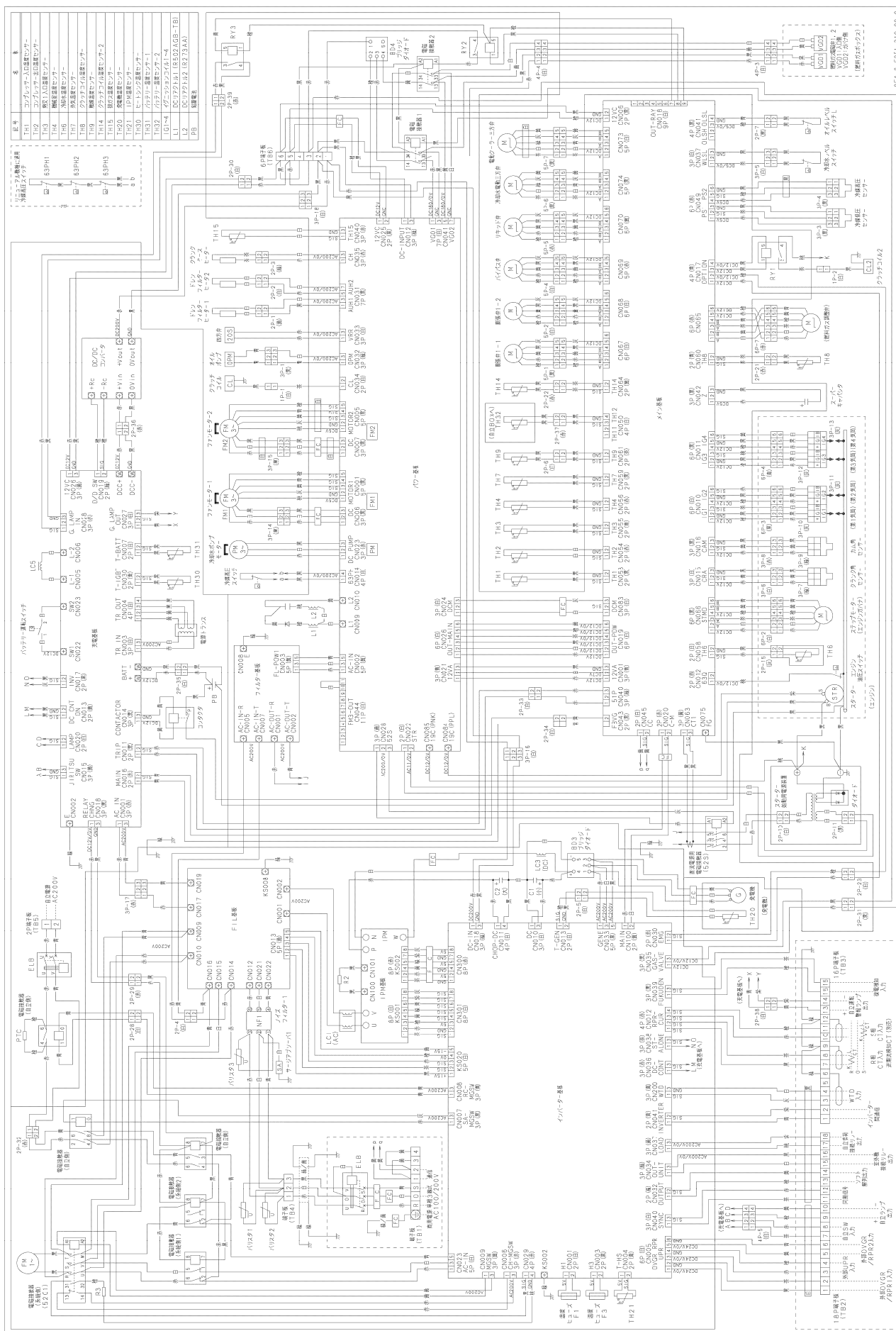
φ4.5穴
73.6
110
21.4
65
14.3
φ4.5×5.5長穴

受信部寸法図

14.3
11.7
3.6
20
8
37.2
10.5
36
2−φ5穴
67
3
4.5
14.3
69.5

操作部寸法図

13
3
2−φ5穴
27.2
1
54.5
9
110
99
120

品番	CZ−10RWL3	外形寸法図 (ワイヤレスリモコン) 2方向に適用

外形寸法図

ワイヤレスリモコン寸法図
19.5
182
61
リモコンホルダー(付属)寸法図
φ4.5穴
73.6
110
21.4
65
14.3
φ4.5×5.5長穴
受信部寸法図
120
130
2
20
社名
グリル昇降応急運転
運転
タイマー
準備中
65
53
受信部
品番
CZ－10RWT3
外形寸法図
(ワイヤレスリモコン)
天井吊形(160形以下)、
1方向、高天井1方向に適用

電気配線図

付属品

●手元電源スイッチラベル

●冷媒配管長と冷媒充填量記入ラベル

●シール用ラベル

●警戒票

●保証書

●お客様ご相談窓口

●フロンの見える化 記入・貼付方

●据付工事説明書（据付編）

●据付工事説明書（電気工事編）

●据付工事説明書（試運転編）

●据付工事説明書（試運転「インバーター用」編）

●系統連系インバーター検査成績書

●取扱説明書

●コンセントご利用に関してのご注意ラベル

●洗浄レスリニューアル手順（リニューアル機種）

納入範囲

1．本　　体

（1）室外ユニット

Ｕ－＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台

（2）室内ユニット

Ｓ－＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
Ｓ－＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
Ｓ－＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
Ｓ－＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
Ｓ－＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
Ｓ－＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
Ｓ－＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
Ｓ－＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
Ｓ－＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
Ｓ－＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
Ｓ－＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台

（3）リモコン

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台

（4）パネル

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台

2．オプション

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　台

2．納入範囲表

○納入範囲　　×納入範囲外

項　目	納入	備　　考	項　目	納入	備　　考
立会検査	×		建物および基礎	×	防振マット類も納入範囲外となります。
荷造運搬	○	車上渡しとします。	保温保冷工事	×	
現場内小運搬	×	車上から基礎上までは貴社にてお願いいたします。	冷媒追加チャージ	×	冷媒配管長が規定以上の場合は冷媒（R410A）を追加してください。
据　付	×		冷媒配管ガス漏れ検査	×	窒素ガスにて4.15MPaの圧力をかけて漏れ試験を行ってください。
養　生	×		冷媒配管真空引き	×	冷媒配管のエアーパージを行ってください。
冷媒配管工事	×	室外ユニットと室内ユニット間の冷媒配管をお願いいたします。	荷造残材等の処理	×	
電気配線工事	×	室外ユニットと室内ユニットのわたり線および電源接続をお願いいたします。	現地試運転調整	○	試運転調整に必要とする電気・水・燃料は無償で供給願います。
			運転指示	○	試運転時に行います。

3．保証期間

機器の保証期間は、試運転引渡完了日より１か年。ただし、エンジン本体および定期点検交換部品については、試運転引渡完了日より１か年または、運転時間2,000時間の短い方の期間となります。
（定期交換部品は、取扱説明書に記載。）

耐塩害仕様

（１）耐塩害仕様室外機は、日本冷凍空調工業会標準規格ＪＲＡ９００２－1991(空調機器の耐塩害試験基準)に基づいています。

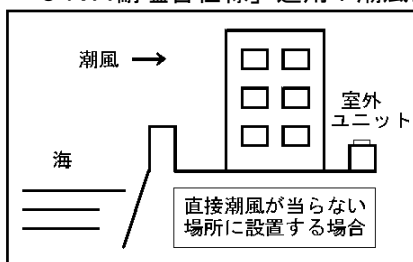
（２）「ＪＲＡ耐塩害仕様」・「ＪＲＡ耐重塩害仕様」の選定の目安

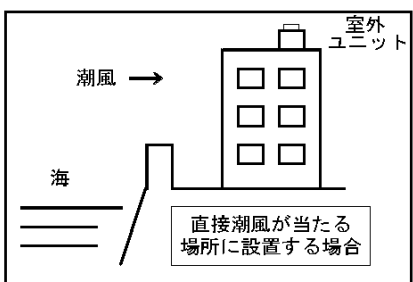
標準仕様は亜鉛被膜による防食性を有し、塗料との密着性を改善した溶融亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板)の使用等により、すぐれた耐食性を発揮します。
しかし、設置場所の多様化に伴い標準仕様のままでの対応の難しいケースも増えています。
このため、次のような設置場所で使用する場合には、さらに耐食性を向上させた「ＪＲＡ耐塩害仕様」又は「ＪＲＡ耐重塩害仕様」をご使用ください。

＜設置場所＞

① 海岸線に隣接し、塩害を受けやすい場所
② 海岸線の工業地帯で塩害や煙害を受けやすい場所
③ 工業地帯ではないがゴミ焼却炉等の煙害を受けやすい場所
④ 交通渋滞地域で排気ガスの影響を受けやすい場所
⑤ 温泉地帯の硫化ガスの多い場所
⑥ 燃焼器の排気を吸込む場所

●ＪＲＡ　９００２では適用の方法として下記の様に記載されています。

「ＪＲＡ耐塩害仕様」適用：潮風にはかからないがその雰囲気にあるような場所に設置する。

	海岸からの距離目安（300m　500m　1000m）	備　考
内海に面する地域	耐塩害仕様 ――――	瀬戸内海
外海に面する地域	耐重塩害仕様　耐塩害仕様	
沖縄・離島	耐重塩害仕様　耐塩害仕様	

「ＪＲＡ耐重塩害仕様」適用：潮風の影響を受ける場所に設置する。

	海岸からの距離目安（300m　500m　1000m）	備　考
内海に面する地域	耐重塩害仕様　耐塩害仕様 ――――	瀬戸内海
外海に面する地域	耐重塩害仕様　耐塩害仕様	
沖縄・離島	耐重塩害仕様	

（３）空調機器の耐塩害試験基準（ＪＲＡ　９００２）について

＜適用範囲＞

ＪＲＡ　９００２(空調機器の耐塩害試験基準) は、室外に設置される空調機器の外郭を構成する部品の金属素地上、主として防食及び装飾の目的で塗装する部品の塗膜の試験方法について規定しています。

＜試験項目と試験時間＞　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：時間）

	試験項目	耐食性	耐湿性	促進耐候性
試 験 時 間	ＪＲＡ耐塩害仕様	４８０	３６０	５００
	ＪＲＡ耐重塩害仕様	９６０	７２０	５００
参　考	標準品	２４０	２４０	３００

＊評価基準詳細についてはＪＲＡ９００２－１９９１を参照してください。

＜据付上のご注意＞

本仕様品を使用した場合でも、発錆に対して万全ではありません。
機器の設置やメンテナンスに際しては、下記の点に留意してください。
ＪＲＡ９００２にも記載されておりますが､本仕様品を使用された場合でも下記のような配慮が必要です。

①海水飛沫及び塩風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置すること。
（波しぶき等が直接かかる場所への設置は避ける。）
②外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるように配慮（例えば室外ユニットには日除け等を取り付けない）すること。
③室外ユニット底板内への水の滞留は、著しく腐食作用を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないように傾き等に注意すること。
④海岸地帯の据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行うこと。
⑤据え付け、メンテナンス等に付いた傷は、補修すること。
⑥機器の状態を定期的に点検すること。（必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施する。）
⑦基礎部分の排水性を確保すること。

（４）耐塩害仕様機種は次のラベルを貼付しています

ＪＲＡ耐塩害仕様機種ラベル	ＪＲＡ耐重塩害仕様機種ラベル
ＪＲＡ耐塩害仕様	ＪＲＡ耐重塩害仕様

（５）室外ユニット耐塩害仕様表面処理一覧

部品名称		素材	標準仕様 塩害仕様 重塩害仕様	
外装・枠組	外装パネル	溶融亜鉛メッキ鋼板	ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 40μm以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80μm以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚120μm以上
	ドレンパン	溶融亜鉛メッキ鋼板	ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80μm以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80μm以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚120μm以上
	底フレーム	熱間圧延鋼板	ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80μm以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80μm以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 120μm以上
	コーナーパネル	アルミニウム	アルマイト処理	
			アルマイト処理	
			アルマイト処理	
	センター支柱・中枠	溶融亜鉛メッキ鋼板	処理なし	
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80μm以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚120μm以上
	固定金具	溶融亜鉛メッキ鋼板	処理なし	
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80μm以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80μm以上
	センター支柱	溶融亜鉛メッキ鋼板	処理なし	
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80μm以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚120μm以上
送風機	ファンガード	鉄線	ポリエチレンコーティング	
			ポリエチレンコーティング	
			ポリエチレンコーティング	
	プロペラファン	樹脂 （本体、ボス部キャップ アルミ（ボス部））	処理なし	
			処理なし	
			シリコンコーキング（ボス部キャップ周り）	
	モーター		処理なし	
			メーカー耐重塩害仕様（塗装＋ＳＵＳ軸）	
			メーカー耐重塩害仕様（塗装＋ＳＵＳ軸）	
	モーター取付脚	溶融亜鉛メッキ鋼板	ジンクリッチ塗装（溶接部）	膜厚 20μm以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80μm以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚120μm以上
熱交換器	フィン	アルミニウム	処理なし	
			プレコート処理	
			プレコート処理＋ジンクリッチ処理	膜厚 20μm以上
	管	銅	処理なし	
			ジンクリッチ塗装（ろう付部側）	膜厚 20μm以上
			ジンクリッチ塗装（全体）	膜厚 20μm以上
	管板	高耐食溶融メッキ鋼板	処理なし	
			ジンクリッチ塗装（ろう付部側）	膜厚 20μm以上
			ジンクリッチ塗装（全体）	膜厚 20μm以上

耐塩害仕様

部品名称		素材	標準仕様 塩害仕様 重塩害仕様	
電装	電装箱	溶融亜鉛メッキ鋼板	処理なし	
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚80μm以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚80μm以上
	プリント基板		防湿剤塗布	
			防湿剤塗布	
			防湿剤塗布	
アキュームレーター		鋼板	カチオン電着塗装	膜厚80μm以上
			カチオン電着塗装	膜厚80μm以上
			カチオン電着塗装	膜厚80μm以上
配管	ろう付け部	銅管・鉄管	処理なし（銅管）、ウレタン塗装（鉄管）	膜厚20μm以上
			標準＋ジンクリッチ塗装（２Ｆ側）	膜厚20μm以上
			標準＋ジンクリッチ塗装（２Ｆ側）	膜厚20μm以上
	表面部	銅管	処理なし	
			処理なし	
			ウレタン塗装（２Ｆ側）	膜厚20μm以上
ネジ・留具類	内装（１Ｆ側）	鉄・ステンレス	処理なし(SUS30*)、ジオメットまたはクロメート処理(SUS410・鉄)	
			処理なし(SUS30*)、ジオメットまたはクロメート処理(SUS410・鉄)	
			処理なし(SUS30*)、ジオメットまたはクロメート処理(SUS410・鉄)	
	内装（２Ｆ側）	鉄・ステンレス	処理なし(SUS30*)、ジオメット処理(SUS410・鉄)	
			処理なし(SUS30*)、ジオメット処理(SUS410・鉄)	
			塩害＋ウレタン塗装	膜厚20μm以上
	外装	ステンレス	処理なし（SUS30*）、ジオメット処理（SUS410）	
			標準＋ウレタン塗装	膜厚20μm以上
			標準＋ウレタン塗装	膜厚20μm以上

機　　種　　名	エクセルプラス室外ユニット
形　　　　式	Ｕ－ＧＢ５６０Ｓ２ＳＤ（Ｒ）
分岐配管セット	ＡＰＲ－Ｐ１６０Ｂ ＡＰＲ－Ｐ６８０Ｂ ＳＧＰ－ＰＣＨ１４００Ｋ
ヘッダー配管セット	ＳＧＰ－ＨＣＨ２８０Ｋ ＳＧＰ－ＨＣＨ５６０Ｋ
ボールバルブセット	ＳＧＰ－ＢＶ５６Ｋ ＢＶ—ＲＸＰ１６０Ａ ＢＶ－ＲＸＰ２２４Ａ ＢＶ－ＲＸＰ２８０Ａ ＢＶ—ＲＸＰ３３５Ａ ＳＧＰ－ＢＶ４５０Ｍ ＳＧＰ－ＢＶ３５５Ｋ ＳＧＰ－ＢＶ７１０Ｋ
外付電動弁キット	ＡＴＫ－ＳＶＲＫ１６０Ｂ
ガス管弁キット	ＡＴＫ－ＲＸ１６０Ａ
排気延長キット	ＳＧＰ－ＰＥＸ５６０Ｋ
系統連系盤	ＡＣＣ－ＧＸ５６０Ｋ１Ｇ－２ ＡＣＣ－ＧＸ５６０Ｋ１Ｇ－５　※１ ＡＣＣ－ＧＸ５６０Ｋ１Ｇ－８　※１ ＡＣＣ－ＧＸ５６０Ｍ２Ｇ－１　※１
電力トランスデューサー	ＡＣＣ－ＷＴＤ
零相電圧検出器	ＡＣＣ－ＺＰＤ－２
低圧逆潮流検出ＣＴ （電流センサー）	ＡＣＣ－０８Ａ１ＣＴ３００ ＡＣＣ－０８Ａ１ＣＴ５００ ＡＣＣ－Ｔ０８Ａ２ＣＴ１０００

注１）※１に関しては、零相電圧検出装置との組み合わせでないとＯＶＧＲが動作しませんので、必ず同時に手配してください。

注２）ＡＣＣ－ＧＸ５６０Ｋ１Ｇ－５、ＡＣＣ－ＧＸ５６０Ｋ１Ｇ－８に使用する零相電圧検出装置（現地手配）と、ＡＣＣ－ＧＸ５６０Ｍ２Ｇ－１に使用する零相電圧検出装置ＡＣＣ－ＺＰＤ－２は仕様が異なるため併用はできません。